

委員会意見要望及び当局処理状況（3月定例会）

R 2. 5. 29

議案番号	件名	提案年月日	議決年月日	審査委員会	意見要望	担当課	処理状況
第22号 議案	令和元年度豊岡市一般会計補正予算（第9号）	2. 2. 28	2. 3. 26	予算決算委員会	出石温泉館乙女の湯の営業再開について、ベンチャー企業の参入によるグランピング施設としての取り組みを大いに期待するところであるが、新型コロナウイルスの影響による経済活動の停滞や景気の悪化が今後の事業展開や運営に悪影響を及ぼすことが心配される。企業との連絡を密にし、景気の動向や社会情勢を的確に把握した上で、確実な事業展開等がなされるよう指導・助言を行うことを要望する。	出石地域振興課	出石温泉乙女の湯の営業再開については、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオープンが延期されるなど大きな影響を受けている。 これまで運営事業者とは連携を密にし、情報共有を図り、再開に向けて取り組んできた。 引き続き、広報宣伝など、これまで行ってきた支援に加え、新型コロナウイルス対策に関する国・県・市の支援策の情報提供など、市としてできる限りの支援を行っていく。
第32号 議案	令和2年度豊岡市一般会計予算	2. 2. 28	2. 3. 26	予算決算委員会	旧市町別に開催予定の地域デザイン懇談会については、旧市町別の必要な公共サービスとして提供すべき機能・施設を、主に施設面で議論し、地域デザインプランの策定を目指すものである。 一方、市全域の地域コミュニティをカバーする地域コミュニティビジョン、29の地域コミュニティがそれぞれ策定する地域づくり計	公共施設マネジメント推進室	地域デザイン懇談会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し設置を見合せ、開催時期は早くても今年度冬頃になるものと想定している。 地域デザイン懇談会は、各振興局に運営支援を依頼し、現在進行中の各種計画の内容などを、所管課より随時情報提供を受けるなど、横の連携を密にし、全市でバ

				<p>画、また教育関連では、市立小中学校適正規模・適正配置計画、幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画など、さまざまな計画づくりが同時進行となっている。</p> <p>地域デザイン懇談会では、各計画・各担当課及び各振興局との連携を密にし、それらとの整合性を踏まえたうえ、また、旧市町間を分断することなく全市で一体感・バランス感のある議論となるよう取り組まれない。</p> <p>新型コロナウイルス対策について、日々状況が変化しつつあることを踏まえ、機敏で効果的な予算編成とその確実な執行に努められたい。</p> <p>新文化会館整備事業について、大型プロジェクト、大規模投資である本事業の「基本設計」の作成にあたっては、昨今の大きな経済状況の変化などに鑑み、将来展望を十分に見据えたうえで、施設規模及び機能などを再考、精査されたい。</p>	<p>財政課</p> <p>新文化会館整備推進室</p>	<p>ランスのとれた議論となるよう取り組む。</p> <p>予算編成については関係機関と緊密な情報連携を行うとともに、国県の対策の動向にも十分注視しながら、機敏に対応していく。</p> <p>また、予算執行については感染症拡大状況を踏まえたうえで、必要に応じて事業を組替えるなど、より柔軟により確実に執行していく。</p> <p>新文化会館の整備にあたっては、基本構想及び基本計画に基づき、将来の人口減少や需要の見通し、財政見通し等も考慮しながら、大ホールを適切な座席数とし、また、諸室を多機能な設備として重ね使いするなど、イニシャルコストだけでなくランニングコストも</p>
--	--	--	--	---	------------------------------	--

				<p>また、未来への財政負担とならないよう、人口規模に見合った施設となるように、イニシャルコスト、ランニングコストを比較、検討しながら思い切った総事業費の削減、抑制に努められたい。</p> <p>さらに、事業進捗における節目においては、細かな報告、情報公開に努めるとともに、協議の中で出された意見を真摯に受け止め、当局、議会双方の合意により事業推進を図られたい。</p> <p>生涯学習サロン整備事業について、中心市街地活性化に結び付くよう、市民等の意見を傾聴・反映させた、市民に広く愛され、活用される施設となるよう事業を展開されたい。</p> <p>また、これ以上の過度な財政負担とならないよう、総事業費の抑制を図られたい。</p> <p>有害鳥獣対策について、これまでの被害防止対策や駆除対策は評価するものの、野生動物による農作物被害は、依然として農業者に深刻な影響を与え続けており、このままではさらに疲弊する農家が</p>	<p>生涯学習課</p> <p>農林水産課</p>	<p>抑えるコンパクトな施設として、「基本設計」の中で引き続き検討していく。</p> <p>また、事業の推進にあたっては、適宜、進捗状況を報告し、議論を行っていききたい。</p> <p>但馬高齢者生きがい創造学院には引き続き高齢者の生きがいづくりにつなげる活動を行っていただくとともに、市民向けの講座の開設や創作活動など多くの市民に利用され、交流が盛んとなるよう生涯学習機会の提供を図っていただく予定である。</p> <p>総事業費は、解体工事・新築工事を含め十分精査のうえ現計予算内で対応する予定である。</p> <p>2020年度、これまでの捕獲体制をさらに強化し、シカの生息状況に応じた“隙間の無い捕獲”を継続する。「第3期シカ有害被害撲滅大作戦」で創設した「流し撃ち部隊」は、林道を車等で移動し、シカ</p>
--	--	--	--	--	---------------------------	--

				<p>増えてくると心配している。2020年度から3年間、「第3期シカ有害被害撲滅大作戦」に取り組まれるが、さらなる捕獲対策の強化を強く要望する。</p> <p>専門職大学について、兵庫県は但馬地域の活性化を意識しているが、本市に誘致されるため、本市の財政負担が突出して増加することが懸念される。開校後の財政負担については、十分検討・協議されたい。</p> <p>木質バイオマス事業について、ペレットの製造が中止され、今冬においても、すでにペレットストーブを使用していない施設があると聞いている。ペレットの確保及び使用しないペレットストーブの売却処分も含め、今後の有効活用を検討されたい。</p>	<p>大交流課</p> <p>農林水産課</p>	<p>等を見つけたら車から降りて捕獲をすることで、捕獲困難地域での捕獲も進める。</p> <p>その他、「ニホンザル被害対策事業補助金」を創設し、昨今顕著であるサルによる農作被害の減少を目指す。</p> <p>有害鳥獣対策員を中心に、2019年度設置した県版地域おこし協力隊「地域再生協働員」と密に連携しながら、以上のような対策に取り組む。</p> <p>専門職大学開学後は、専門職大学と但馬3市2町との地域連携のための予算執行を想定しているのみであり、当初、誘致の際に兵庫県と取り決めた、大学運営者への土地の無償貸与と8億円の寄附以外の財政負担は行わないこととしている。</p> <p>今後のペレット燃料の確保及び供給については、現在市内で市外産ペレットの販売を行っている業者、また、ペレット製造を行っている業者と調整している。</p> <p>市外産となると運送費等の追加経費も見込まれるため、これまでの市内産に比べ販売価格が値上がりするものと見込んでいる。</p>
--	--	--	--	---	--------------------------	--

					<p>ワークイノベーションの推進について、若い女性のUIターンの増加や定着を目指しているが、市内企業などの求人と若い女性の求職希望にギャップが生じているため、ミスマッチ解消に向けた施策の検討をされたい。</p> <p>厳しい財政状況の中での大型投資的事業の取り組みについて、これまでから、市の課題の一つは財政の危機である。様々な市民要望に対して十分に答えられているとは言えない実態があることに加えて、今回、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、倒産や廃業の危機に直面している事業者等が増えることが予想される。景気の後退による市の歳入の見通しが見えない中であっても、今後、市独自の経済対策等への需要が高まることが想定される。</p> <p>さらに、地域デザイン懇談会な</p>	<p>環境経済課</p> <p>財政課</p>	<p>使用しなくなったペレットストーブの利活用については、学校施設等で故障したストーブの代替機として利用したり、それでも不要となった場合は売却処分するなど、有効な方法を検討していく。</p> <p>若い女性が働きたいと思う職場を増やすことは、地方創生の観点からも重要であり、規模は小さいがITを活用した在宅ワークなど新しい動きも出てきている。今後も、市内企業やハローワークなどと連携しながらマッチングが進むよう検討していく。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の地域経済、市財政への影響については、現在、不透明な状況にある。</p> <p>そのため、毎年度更新する「長期財政見通し」を基本に、将来の財政状況を把握したうえで、各計画に沿った事業に取り組んでいく。</p> <p>なお、実施に際しては全体事業費を抑制するなど創意工夫に努める。</p>
--	--	--	--	--	---	-------------------------	---

					<p>ど、周辺地域では公共施設統廃合に関して具体の議論が始まろうとしている。</p> <p>このような時期に、中心部では新たな施設の建設が開始されることに対する不公平感や、財政危機であっても将来に多額の財源を要する大型事業に取り組む方針に対して、疑問を持つ多くの市民がいることを十分踏まえて、事務事業を執行されることを強く要望する。</p>		
第41号 議案	令和2年度豊岡市水道事業会計予算	2. 2. 28	2. 3. 26	建設経済委員会	<p>人口減少が進む中で、料金収入の減少等により、今後ますます厳しい経営状況が予想される。</p> <p>現在、施設の統廃合やコンパクト化の検討等コスト縮減への努力はされているが、水道料金見直しにあたっては、管路施設の長寿命化や更新投資額の平準化等、長期財政見通しをしっかりと立てた上で着手されたい。</p> <p>また、あわせて豊岡中核工業団地等の特別料金のあり方についても、十分検討されたい。</p>	水道課	<p>水道料金の見直しについては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、検討を1年程度先送りしたところであり、今後、地域経済や市民生活の状況などを注視し、適切な時期に検討を行うこととした。</p> <p>検討にあたっては、その時点での経営状況等を踏まえ、施設整備計画を精査し、適切な長期財政見通しを作成する。</p> <p>また、特別料金のあり方については、関係課と十分調整、協議を行う。</p>
第42号 議案	令和2年度豊岡市下水道事業会計予算	2. 2. 28	2. 3. 26	建設経済委員会	<p>公共下水道事業の収益は、下水道接続率との関連性が高い。現在においてもなお公共下水道へ未接続の住宅や事業所、旅館等がある</p>	下水道課	<p>公共下水道への接続に向けた取り組みについては、毎年、対象地域を定め、未水洗化の住宅や事業所等を戸別に訪問している。今後も</p>

					<p>ので、接続に向けた取り組みを強く要望する。</p> <p>また、下水道料金見直しにあたっては、施設の統廃合、管路施設の長寿命化及び更新投資額の平準化等、長期財政見通しをしっかりと立てた上で着手されたい。</p>		<p>引き続き戸別訪問を実施し、水洗化率の向上に取り組んでいく。</p> <p>下水道使用料の見直しについては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、検討を1年程度先送りしたところであり、今後、地域経済や市民生活の状況などを注視し、適切な時期に検討を行うこととした。</p> <p>検討にあたっては、その時点での経営状況等を踏まえ、施設の統廃合や長寿命化の効果、今後の事業計画の平準化等を十分に検証した上で経営戦略を見直し、使用料改定の必要性を検討する。</p>
第44号 議案	令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第1号）	2. 3. 13	2. 3. 26	予算決算 委員会	<p>新型コロナウイルス感染症対策について、ウイルスの感染拡大により、医療現場は緊迫の度合いを深めており、一般市民はもとより、子どもたちの心身や生活にも大きな影響が及んでいる。</p> <p>また、観光業、飲食業をはじめとする市内事業者の経済状況は悪化の一途をたどっている。</p> <p>日々国内外の状況が変化しつつあることを踏まえ、市民へ迅速かつ的確に情報提供を行って不安解消を図るとともに、感染者が確認された場合等の対応策、市内の事業者及び被雇用者に対する休職・</p>	防災課 環境経済課	<p><防災課></p> <p>新型コロナウイルス感染症情報については、国県からの情報を分析し、また豊岡健康保健所と連絡を密にし、専門的知見からの判断を仰いだうえで、市の感染症対策を検討している。</p> <p>デマや風評により市民が混乱しないよう、防災行政無線等を利用し、市民に正しい情報を積極的に周知する。</p> <p><環境経済課></p> <p>売上が大きく減少した事業者の事業継続と雇用を守るため、資金繰りに窮する事業者への低利融資</p>

					<p>休業対策、資金融資等、各段階において適切な効果が期待できる対策を講ずる必要がある。</p> <p>機敏で効果的な予算編成とその確実な執行に努め、限られた財政を有効かつ集中的に活用するため、「小回りの効いた施策」を、柔軟性を持って迅速に展開されたい。</p>		<p>制度の創設、国の雇用調整助成金の申請支援や上乗せ給付等の仕組みを整えた。</p> <p>また、国の持続化給付金に係る相談対応、県との協調による休業要請支援金の給付及び申請相談サポート、さらには、創業初期事業者支援給付金などの市独自の施策により事業者への支援を行い、一日でも早く事業者の手元に資金が届くよう迅速な給付に努めている。</p>
第45号 議案	令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第2号）	2. 3. 26	2. 3. 26	予算決算委員会	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援について、日々国内外の状況が変化しつつあることを踏まえ、本市の現状を十分に注視しながら、限られた財源を有効かつ集中的に活用し、機敏で効果的な予算編成とその確実な執行に努められたい。今後の追加経済対策を検討する際は、市民の代表である議会の意見を把握するなど、十分連携して取り組むこと。</p> <p>中小企業への支援については、市内商工団体との連携のもとに、時期を失することなく経営相談や労務相談を行うとともに、窓口の周知や相談の場の拡大を通じて、団体非加入の個人事業主や企</p>	環境経済課	<p>売上が大きく減少した事業者の事業継続と雇用を守るため、資金繰りに窮する事業者への低利融資制度を創設した。</p> <p>また、国の持続化給付金に係る相談対応、県との協調による休業要請支援金の給付及び申請相談サポート、さらには、創業初期事業者給付金などの市独自の施策により事業者への支援を行い、一日でも早く事業者の手元に資金が届くよう迅速な給付に努めている。</p> <p>中小企業への支援については、豊岡商工会議所及び豊岡市商工会に業務を委託し、会員・非会員を問わず、すべての市内事業者を対象とした経営相談窓口の開設や、申請方法が複雑な国の雇用調整助</p>

				<p>業に対しても細やかな支援が及ぶよう留意すること。</p> <p>併せて、農林水産業などの事業者に対する支援策等の検討を行うとともに、風評被害に対する対策を講じること。</p> <p>また、国や県に対して緊急財政支援を強く要望していくこと。</p> <p>(仮称)豊岡応援プロジェクト“豊岡を遊ぼう”については、市内はもとより全国の子どもたちへ応援メッセージを発信しようとする取り組みであり、新型コロナウイルスへの反転攻勢を目指す、豊岡市の個性を生かした取り組みの一つと言える。感染症の終息が見通せない状況ではあるが、豊岡での体験を通じて子どもたちに元気を与え、その取り組みにより地域</p>	<p>農林水産課</p> <p>財政課</p> <p>大交流課</p>	<p>成金に関する個別の労務相談会を定期的に開催するなどきめ細かなサポートによる市内事業者支援を行っている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経営に影響を受けた農業者又は水産加工業者等に対し、経営維持安定に必要な資金を融通し支援を行うため、制度を拡充又は創設し、県及び市からそれぞれ利子補給する。</p> <p>また、風評被害対策については、今後の動向を注視し、必要な対策を進める。</p> <p>関係機関と緊密な情報連携を行い、国県に対して必要な財政支援を要望していく。</p> <p>プロジェクトの実施にあたっては、国が実施する「Go To キャンペーン事業(仮称)」や兵庫県が実施する「Welcome to Hyogo キャンペーン」と連携して取り組むことで、効果をより高めるよう努める。</p> <p>実施時期については、事態の推移を注視しながら慎重に判断するとともに、事業の目的、内容については予算の使途も含め、丁寧な</p>
--	--	--	--	--	-------------------------------------	---

				<p>経済が循環し、アートや観光分野のみならず、その効果が市内全域に行き渡るよう努められたい。</p> <p>また、クラスター発生の要因となるリスク回避対策の徹底を図るとともに、補正予算の使途に関する市民への理解を得るための十分な説明を行うこと。</p> <p>なお、今回の新型コロナウイルス感染症は、市民の健康や生活、教育など、幅広い分野に影響を及ぼしている。</p> <p>従って、今後の市政運営に当たっては、市民の不安を取り除くため、十分な対策を講じられたい。</p>	防災課	<p>説明を行う。</p> <p>感染者の発生状況などについて、SNS等の真偽不明の情報により不安に陥っている市民もある。防災行政無線等を利用し、市民に正しい情報を積極的に周知する。</p>
--	--	--	--	---	-----	---